

第1回「京都水道グランドデザイン」検討委員会

# 「京都水道グランドデザイン」概要（案）

平成28年10月25日（火）  
京都府環境部公営企画課

# 第1章 「京都水道グランドデザイン」趣旨

## (1) 策定の必要性

- ・昭和55年「京都府水道整備基本構想」、昭和60年「京都府南部地域広域的水道整備計画」を策定
- ・その後の水道事業については、人口減少における持続的経営へ 課題がシフト
- ・現状では、水道施設の耐震化・老朽化対策、そのための経費の増加、限られた職員体制での対応など、水道事業が立ち行かなくなるおそれ
- ・市町村を超えた広域的な連携や個別の事業者では解決困難な課題について、府がリーダーシップを発揮し、共に課題解決に向かうよう期待
- ・こうした状況を受け、府域全体の水道事業の方向性を取りまとめた「京都水道グランドデザイン」を策定

## (2) グランドデザインの位置づけ

- ・厚生労働省「新水道ビジョン」(平成25年3月)の基本理念や理想像を踏まえ、「基本構想」を全面改定して策定
- ・府内市町村の「市町村水道ビジョン」や「京都府営水道ビジョン」とも連携し、将来の目指すべき姿などの共通の目標となるもの

## (3) 計画期間

- ・計画期間は平成31～40年度
- ・課題に応じて目標期間を設定
  - 短期目標:平成35年度
  - 中期目標:平成40年度
  - 長期目標:平成50年度

## 第2章 一般概況

### (1) 地 勢

- ・面積は約4,600平方キロメートル(全国31番目)
- ・気候は日本海型と内陸型に区分
- ・丹後・中丹地域の海岸線はリアス式海岸
- ・中丹から中部地域は大部分が山地
- ・京都・乙訓、山城・相楽地域は、山城盆地が広がる

### (2) 人 口

- ・府内人口は平成16年(約264万8千人)をピークに減少
- ・地域別では、増加傾向にある地域も

### (3) 産業・経済について

- ・府内総生産額(名目)は約9兆8,200億円(平成25年度)
- ・第三次産業への就業者数が約8割を占めており、増加傾向
- ・第二次産業への就業者割合は減少傾向

### (4) 水資源について

- ・年間降水量は約1,500ミリ(南部より北部で多い傾向)
- ・京都市では水道用水のほとんどを琵琶湖疎水から取水
- ・南部地域は、府営水道が、宇治川、木津川、桂川から取水しているほかは、ほとんどが地下水
- ・中北部地域は、表流水、伏流水からの取水、不安定な水源が多い状況

# 第3章 水道の現況

## (1) 水道普及率(給水人口)について

- ・給水人口は約260万1千人(平成26年度末)
- ・水道普及率は99.7%(全国8位)

## (2) 水道事業者数について

- ・平成16年度末から平成26年度末の推移

上水道事業数 28箇所 → 24箇所

簡易水道事業数 185箇所 → 117箇所

専用水道 121箇所 → 149箇所

### (3) 職員の状況について

- ・府内の水道関係職員数は約1,200名（平成25年度末）
- ・技術系職員の占める割合は約6割
- ・技術系職員は50～59歳が最も多く、今後10年間で大量の退職者

### (4) 施設状況について

#### 1) 施設の耐震化状況

- ・府内管路の耐震化率：10.6%（全国平均12.8%）
- ・基幹管路の耐震化率：27.7%（全国平均21.6%）
- ・浄水施設の耐震化率：29.9%（全国平均22.1%）
- ・配水池の耐震化率：35.8%（全国平均47.1%）

## 2) 管路の経年化状況

- 府内管路の法定耐用年数(40年)超過率: 11.6%  
(全国平均10.5%)
- 府内管路の更新率: 0.75% (全国平均0.79%)

※ 更新率 = 更新された管路延長 / 管路総延長

## (5) 水質管理体制について

### 1) 水質検査体制

水道水質基準51項目検査

→ 直営実施は京都市と府営水道のみ

### 2) クリプトスポリジウム対策実施状況

- ・クリプトスポリジウム対策が必要な施設数：240施設（平成26年度末）
- ・うち対策済み施設数：195施設（81%）
- ・対策済み施設が増加傾向

### 3) 水安全計画策定状況

策定済みは2市のみ

## (6) 水道料金について

上水道料金(20m<sup>3</sup>あたり)

府内平均:2,867円(最高:4,276円、最低:2,068円)

全国平均:3,201円

簡易水道(20m<sup>3</sup>あたり)

府内平均:3,760円(最高:4,471円、最低:2,878円)

簡易水道(10m<sup>3</sup>あたり)

府内平均:1,469円(最高:2,750円、最低712円)

全国平均:1,415円

## (7) 危機管理の状況

- ・危機管理に関する計画策定状況(上水道23事業者)

  - 応急給水計画:13事業者

  - 応急復旧計画:12事業者

- ・危機管理マニュアル策定状況(同上)

  - 地震対策マニュアル:13事業者

  - 水質事故対策マニュアル:12事業者

  - 管路事故対策マニュアル:12事業者

## (8) 府営水道の状況について

- ・府営水道を運営し、南部7市3町に供給
- ・宇治、木津、乙訓の3浄水場を設置し、1日最大給水能力は166,000m<sup>3</sup>

京都府水道用水供給事業				
条例上の名称	京都府営水道			
事業認可年月日	事業経営認可 昭和62年3月31日 変更認可 平成3年3月30日（宇治浄水場高度浄水処理施設の導入） 変更認可 平成3年8月1日（乙訓浄水場取水位置の変更）			
建設年度	昭和62年度～			
浄水場の名称	宇治浄水場	木津浄水場	乙訓浄水場	合計
計画取水量	1.2m <sup>3</sup> /秒	0.9m <sup>3</sup> /秒	0.86m <sup>3</sup> /秒	2.96m <sup>3</sup> /秒
計画1日最大給水量 [現状]	96,000m <sup>3</sup> /日 [72,000]	72,000m <sup>3</sup> /日 [48,000]	68,800m <sup>3</sup> /日 [46,000]	236,800m <sup>3</sup> /日 [166,000]
給水対象団体及び 給水開始年月日	城陽市（昭和39年12月） 宇治市（昭和40年6月） 久御山町（昭和43年4月） 八幡市（昭和43年7月）	木津川市（昭和52年10月） （旧木津町域） 京田辺市（昭和53年7月） 精華町（昭和63年7月）	向日市（平成12年10月） 長岡京市（平成12年10月） 大山崎町（平成12年10月）	10市町
事業の内容	浄水場の整備	宇治浄水場の高度浄水処理施設（平成8年度完了）		
		乙訓浄水場の新設46,000m <sup>3</sup> /日（平成12年度完了）		
		木津浄水場の第1期拡張24,000→48,000m <sup>3</sup> /日（平成16年度完了）		
	浄水場間の接続 （連絡管の整備）	宇治浄水場と木津浄水場の送水管接続（平成4年度完了）		
乙訓浄水場と宇治・木津浄水場の送水管接続（平成21年度概成）				